

# アクティブ サポート 京都

Active Support Kyoto

京都産業21のビジネス情報誌

02

Feb. 2005. No.017

<http://www.ki21.jp>

## CONTENTS

財団理事へのインタビュー“みやこの風”	1 ▶ 2
京都ビジネス交流フェア2005	3 ▶ 5
新春賀詞交歓会	6
新京都ブランドレポート⑥	7 ▶ 8
第二創業・経営革新セミナー	9 ▶ 10
産学公連携 大学リエゾンオフィス紹介	11
人づくり塾	12
受発注コーナー	13
遊休機械設備コーナー	14
行事予定表	15

**京都ビジネスパートナー交流会2005**

～2005年2月8日(火)-9日(水)～

国立京都国際会館

がんばる企業を支援します。

財団法人 **京都産業21**

Kyoto Industrial Support Organization 21

# 財団理事へのトップインタビュー ～「みやこの風」～ かおり

今回、ご登場いただくのは、総合電子部品メーカー株式会社村田製作所代表取締役社長であり、当財団副理事長である、村田泰隆氏。

株式会社村田製作所は、世界を舞台に躍進する総合電子部品メーカーとして、世界のエレクトロニクス産業をリードしつづけている企業です。昨年、創業60周年を迎えるとともに、長岡京市にツインタワーの新社屋を竣工し、更なる飛躍が期待されている株式会社村田製作所代表取締役社長の村田泰隆氏にお話をお伺いしました。

(担当:企画広報グループ)

## 統合後3年経過した財団の評価

—平成13年4月に3団体が統合し、財団法人京都産業21として新しくスタートしました。この間の財団をどのように見ておられますか。



村田●京都府知事から、法に基づく「中核的支援機関」としての認定や「中小企業支援センター」の指定を受け、中小企業の経営革新、新産業育成、創業促進などの各種支援事業を展開し、更なる強化に努めているところですが、3団体の統合効果は着実にあらわれてきていると見ています。

—昨年、誰のために仕事をするのか、を常に考え、顧客第一の視点に立った、当

財団の「基本理念」を策定するとともに、昨年は財団の「中期計画」を策定し、新たな第一歩を踏み出しましたが、今後とも、役員一人ひとりが高い目的意識を持ちながら、人的情報や情報ネットワークの強化を構築しつつ、質の高いサービスの創造と提供を心掛けていきたいと考えております。

## 創業から今日に至るまでを振り返って

—貴社は、昨年、創業60周年を迎えられるとともに、新社屋を竣工されるなど、大きな節目となる年を迎えられました。この間の歩みをどのように見ておられますか。

村田●創業当時の名もない町工場から、今日のような規模のメーカーに発展できたことは感慨に耐えません。

これは、株主の皆様をはじめお得意先、サプライヤー、行政の

方々のご指導、ご支援の賜ものであり、創業以来、材料開発から製品、生産機械、工法開発までの一貫した研究開発と生産体制を敷くことにより、「独自技術」「独自製品」を創出してきた成果と考えています。

今後、材料、高周波、回路設計技術ならびにプロセス技術など基軸となる技術に加え、「ナノメートルからテラヘルツまで」をキーワードにナノレベルの微細加工技術、テラヘルツ、光の領域も視野に入れ、研究開発と事業の拡大に取り組んでいきます。

## 企業理念とそのねらい

—企業理念について、お聞かせいただけますか。

村田●当社は、「新しい電子機器は新しい電子部品から、新しい電子部品は新しい材料から」を基本理念としています。

創業当時は、材料の大半を外部から購入していました。このため、同じ成分のほうのもので、購入時期が違えば、品質にバラツキがあり、お客様に納品できないといったことも起りました。

これを教訓とし、社内の品質管理のもと、材料を調合し、製造しなければならぬと考え、創業間もない昭和31年に、長岡京市に村田技術研究所を開設し、当時の企業規模では「会社をつぶす」と言われるほどの体制を整えました。さらに、昭和37年、滋賀県八日市市に大規模な原材料工場を開設しました。また、製造の自動化も重要と認識し、社内での開発を積極的に進めました。これらにより、材料、工法の様々なノウハウを獲得し、独自の製品を効率的に作る体制を整えました。

現在でも、材料開発、工法・プロセス技術、商品開発を主要な柱として研究開発費を投資し、そのいずれの分野においても業





界の最先端を目指しています。

材料から製品に至る一貫生産体制によって、各工程で付加価値が生まれます。ここにノウハウとコストの面で国際競争に勝ち残る要素があると考えています。

## 技術革新への対応と産学連携の取り組みについて

—技術開発の取り組みについては、終戦直後、当時の京都大学田中助教授との出会いが大きかったとお聞きしておりますが、技術開発、産学連携の取り組みについて、お聞かせ下さい。

村田●当社の成長について、京都大学との産学協同活動を抜きには語れません。田中先生の研究テーマである「チタン酸バリウム」の解析により、主力製品となるチタン酸バリウム磁器コンデンサが生まれ、そ



の後、チタン酸バリウムの誘電性、圧電性、半導性などの特性を利用した製品を開発できたことが当社の発展につながりました。

現在も、当社の目指す開発領域と合致する大学、ATR、研究室との共同研究、社員派遣等を積極的に行っています。

京都は、我が国を代表する産学連携による、研究開発、新事業創出の最高の舞台と言えます。(財)京都産業21としても、1社でも多くの、大いなる可能性を持つ京都の中小企業の皆さんに対して、産学連携の架け橋の役目を果たしていくことが大切であると考えています。

## ご自身について

—村田社長は、青春まっただ中の頃、渡米され、ニューヨーク大学で学ばれています。当時の思い、海外で学ばれたことでのどのような影響を受けられたか、お聞かせ下さい。

また、蝶をこよなく愛され、本も出されたとお聞きしていますが、そのあたりも含めて、人間「村田 泰隆」をお聞かせ下さい。

村田●海外留学で異なった社会、文化を経験できたことは、大いに役立っています。様々な国からの留学生がおり、彼らと一緒に行動したり、議論をする中で多様な歴史、文化、政治、宗教とそれに基づいた価値観があることと、それを理解する必要性があることを強く認識しました。日本人のものさしは、日本にいる限り変わりません。国際ビジネスで生きていくためには、いくつかのものさしを持っておくことが必要です。現在でもそれができるように、例えばひとつのテーマについて日本と海外の新聞を読み、その違いを認識するようにしています。

蝶への取組みは小学校3年生から。上級生の持っていた標本に見たことのない蝶があったり、自分で採集した蝶の美しさに惹かれたのがきっかけです。

採集、飼育・生態観察、写真撮影、発生・進化の研究と、切り口

を変えて深めることができます。ここ10年以上は写真撮影、さらには化石の研究に力を入れています。

## 京都の良さ、可能性(京都企業であることについて)

—貴社は京都に本社を置かれ、また、村田社長は京都を拠点に活躍されています。京都の良さ、また京都の可能性をどのように見ておられるか、京都への思いと併せてお聞かせ下さい。

村田●京都は、創業の地でありますが、特に京都にこだわっている理由はありませんし、逆に大阪や東京に本社を構えなければならぬというこだわりも持っていません。

京都にいてもITツールの発展で多くの情報は遜色なく入手できますし、マーケットの近くにおく必要のある機能は東京支社、横浜事業所がカバーしています。

また、当社の地域別の売上構成は、海外が65%となっており、本社所在地による影響は大きくありません。新本社竣工を機に、京都の利点を活かしつつ、ワールドワイドに展開したいと思っています。

京都の気風として、伝統産業を手がける中小企業が多いためか、自主独立の気風があると感じています。そして、伝統を守り続ける反面、新規のものにも寛容で、ベンチャーの企業にもあまり干渉せず暖かいところがあると思います。

また、京都は大学の数が多く、しかも東京のように巨大企業が集中していないので、一般になじみの薄い中堅企業であっても、優秀な人材を集め易いというメリットもあります。

伝統的、特徴的な技術と最先端の研究成果を融合することによって、大きく飛躍できる可能性をはらんでいる土地だと思います。

## 京都の起業家、中小企業経営者へのメッセージ

—京都の起業家や中小企業経営者、若手経営者の方々にメッセージをいただけますでしょうか。

村田●信条は「perceptive(鋭敏・洞察力)、persuasive(説得的)であれ」です。様々な文化や価値観の背景を理解しつつ、みずからの考えを築くことをモットーとしています。

従業員にも、幅広い視野を身につけ、異なる風土や文化、お互いに異なる物差しの存在を理解し、多視点からものを見ていく



力を持つことと、ひとりひとりの強み、得意分野を持つこと、そして決断にあたっては、情報の分析力を高め、自己判断力や思考力を深めることを求めています。

また、企業の成長発展にとってもコア・コンピタンスを確立し、それを高めることが不可欠であると考えています。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 企画広報グループ

TEL:075-315-9234 FAX:075-314-4720  
E-mail:kikaku@ki21.jp

# 京都ビジネス交流フェア2005のご案内

産・学・公が集う! 京都最大規模のビジネスイベント

日時: 2005年2月8日(火)~9日(水) 10:00~17:00(9日は16:30終了)

場所: 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

主催: 京都府 財団法人京都産業21



## 開催イベント

京都ビジネスパートナー交流会2005 (会期中を通して開催)

●中小企業展示コーナー/産学公交流推進コーナー 10:00~17:00(2日目は16:30終了) **イベントホール**

●技術アライアンスコーナー 11:00~16:00 **アネックスホール**

府内外のメーカー45社が参加し、独自技術の開発等、優秀な技術を持ち提案型営業を得意とする中小企業とのマッチングの場(面談形式)を提供。参加メーカー等詳細は別途ご案内します。

### 2005年2月8日(火)

- 京都ものづくりフォーラム2005 10:30~12:00 **Room A**
- 京都“ぎじゅつ”フォーラム 13:00~15:00 **Room D**
- 京都産業21環の会(KSR) 経済講演会 15:00~16:30 **Room B-1**

### 2005年2月9日(水)

- 情報化プラザ 11:00~12:00 **Room D**
- 2005国際化セミナー 13:00~16:00 **Room D**

## 出展企業一覧

### ●自動化機器・生産設備設計~製作

NKE(株)	室屋技研工業
旭光精工(株)	(株)メカテック
(有)シオガイ精機	(株)山岡製作所
秀峰自動機(株)	(株)山城技研工業
(株)本間工業	

### ●金型設計~製作

(株)山崎

### ●精密機械加工

(株)アライドレーザー	(株)草川精機
(株)オージーファイン	小西精工(株)
荻野精工(株)	佐々木機械(株)
(株)桶谷製作所	(有)三翔精工
河原鉄工(株)	(株)三昌製作所
(株)木村製作所	(株)山豊エンジニアリング

(株)清水製作所  
城陽富士工業(株)  
(株)積進  
大和技研工業(株)  
田中精工(株)  
(株)タムラ  
(株)タンゴ技研  
(株)DG工業  
中西機械(株)

西村鉄工(株)  
(株)日光電機製作所  
(株)日昌製作所  
(株)日進製作所  
(有)白道  
ヒロセ工業(株)  
(株)ミネヤマ精機  
(株)山口精機製作所

### ●精密板金・製缶加工

(株)アールエンジニアリング  
伊東板金工業(株)  
掛津アーム(有)  
(株)神村製作所  
(有)新和製作所  
(株)誠工社・エイジシステム(株)

(株)セイワ工業  
(株)大栄製作所  
(株)田中鋁金  
(有)ビックバン  
(株)山口製作所  
(株)山ノ内製作所



25th  
NexTose

地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから

モバイルコンテンツまで

多彩なデジタルエンターテインメントを

創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル  
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容...◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営

グループ会社...株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA, Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728 東証・大証一部上場〉

●鍛造・鋳造	
(株)大宮日進	
●表面処理	
(株)旭プレジジョン 上田鍍金(株) (株)キョークロ 協業組合 丹後熱処理センター	(株)京都ボーセ (株)栗田製作所 (株)ピースパッタ プラスコート(株)
●特殊加工	
エヌシー産業(株) オグラ宝石精機工業(株)関西営業所 共栄工業(株)	(有)平山製作所 (株)ムラカミ
●成型・樹脂機械加工	
(株)セネック 東海電工(株)	プロニクス(株) (株)ヤスタモデル
●電気・電子機器	
栄進電機(株) (有)キーアシスト (株)キョーバル 共進電機(株) 京都電子工業(株) クロイ電機(株) サンエー電機(株) シライ電子工業(株)	(株)信栄テクノス (株)テラシマ精機 (株)西嶋製作所 日本電気化学(株) 藤田電子製作所 マイクロテスト(株) 牧電子工業(株) コムックス(株)
●木材工芸・木型	
(有)廣部機型製作所	宮坂家具工芸(株)
●情報技術・ソフト	
インフォテック(株) (株)エーディーディー (株)カワイプロ	ショウワドウ・イープレス(株)・エスイーエフ(株) (株)ハイパーテック (株)フオン
●自社開発製品	
(株)イーフェイステック 栄立電機(株) (株)旺辰電工 (株)健康科学研究会 (有)シバシステムサービス 相楽工業(株) タカス技研 (有)豊工房ヨシオカ (株)玉山工業 (株)ティーズ・コーポレーション	帝新商事(株) (株)東洋レーベル (株)仲西工務店 中沼アートスクリーン(株) 西田製函(株) ニューリー(株) (株)松菱製作所 美濃商事(株) (株)山科電機製作所
●試作	
京都試作ネット (株)クロスエフェクト (有)杉浦商店	(株)長濱製作所 (有)永政

●その他	
(有)エフ・ディー・サン (株)大槻シール印刷 基幹舎 小林金属興業(株)	(株)三紅 (株)タイセイ (株)西山ケミックス
●グループ・団体	
MCTP 京都機械金属中小企業青年連絡会 京都府電子機器工業会	京都府鍍金工業組合 久御山町受注グループ協会 丹後機械工業協同組合(協)
●京都商工会議所ビジネスモデル認定企業	
Aminerr (有)エイチ・アイ・テクノス (株)エクザム SOBAプロジェクト (株)エニワイヤ 彼方此方屋 京都商工会議所 中小企業経営相談センター 京都ビジネスモデル推進センター 京仏具(株)小堀 (株)さんけい 三幸総研(株) (株)ノフィア・クレイドル (株)太鼓センター	(株)データ変換研究所 デジタルレポリューション(有) (株)ドリコム (株)ネットイン京都 パシオ(有) 株)ピーコス (株)フェムト (有)ベンギンファクトリー (有)マイクロシルク (株)MyBS (株)モフミー ランゲート(株)
●産学交流推進	
大阪電気通信大学 関西学院大学 関西大学 関西ティー・エル・オー(株) 京都銀行 京都工芸繊維大学 京都産業大学 京都信用金庫 (学)京都精華大学 京都造形芸術大学 京都大学 京都橘大学	京都中央信用金庫 京都府立医科大学 京都府立大学 京都文教大学 国立大学法人 滋賀大学 (財)大学コンソーシアム京都 同志社大学 (株)南都銀行 佛教大学 立命館大学 龍谷大学
●支援機関	
京都府織物・機械金属振興センター 京都府中小企業総合センター (社)中小企業診断協会京都支部	(協)京都中小企業診断士会 フューチャーベンチャーキャピタル(株) (財)京都産業21

**京都ビジネスパートナーガイドブック無料進呈**

京都ビジネスパートナー交流会出展企業などの情報を満載したガイドブックを無料進呈いたします。ご希望の方は、下記お問い合わせ先までお申し込みください。

※詳しい内容については**ホームページ** (<http://www.ki21.jp/bp2005/>) でもご覧いただけます。

**【お問い合わせ先】** (財)京都産業21 産業振興部 マーケティング支援グループ  
TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240  
E-mail:ki21@ki21.jp



# samco

Advanced Thin Film Technology  
Sharpening the Cutting Edge™

## サムコは創造性豊かな製品を 世界に送りだしています

- CVD装置
- ドライエッチング装置
- ドライ洗浄装置



薄膜と表面技術  
<http://www.samco.co.jp>

### サムコ 株式会社

2004年12月1日より  
(株)サムコインターナショナル研究所から社名変更しました。

本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田薬屋町36 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936  
営業所 東京・東海・つくば・仙台・福岡・上海・台湾・シンガポール・カリフォルニア



# 平成16年度京都中小企業技術大賞が決まりました!

受賞の技術・製品を展示いたします。

今年度も、合計7社の中小企業の技術・製品が技術大賞および優秀技術賞に選ばれました。「京都ビジネスパートナー交流フェア」の開催に併せて表彰式を行なうと同時に、受賞された優秀な技術・製品を広く紹介するため、フェア会期中にイベントホールで開催する「京都ビジネスパートナー交流会」で展示・紹介しています。ご来場の節は是非とも『技術顕彰コーナー』ブースにお立ち寄りください。

## 平成16年度京都中小企業技術大賞等受賞技術・製品の紹介

### ◆ 京都中小企業技術大賞

株式会社エナミ精機 京都府舞鶴市 代表取締役 江波 俊明

#### 『多品種混流生産／瞬時切替プレスラインの開発』

従来の板金プレス加工での製品機種替えにおいては、金型交換に要するロスタイムや後工程での溶接、塗装ライン用の広い工場を確保する必要があった。このプレスラインは、金型を自動拡縮、瞬時切替する今までにない画期的技術を用いるため、製品全機種の金型交換やライン停止が不要となった。使用する材料も塗装済鋼板を用いるので、スポット溶接に替わるカシメ工法で函体を完成させることができる。金型交換不要でロスタイムを解消するとともに、溶接や塗装ラインの場所が不要となり、大幅な省スペース化を実現した。

### ◆ 京都中小企業優秀技術賞

株式会社片岡製作所 京都市南区 代表取締役社長 片岡 宏二

#### 『ハイブリッド LDYAGレーザ装置 KLY-HP300β』

パルス発振型YAGレーザ装置の励起源に同型半導体レーザ(LD)を使用し、更にアルミニウム材において吸収率の高いLD光(808nm)をYAGレーザ光(1064nm)に重畳させることにより、アルミニウム材の接合効率を10倍以上高めることが可能な「ハイブリッドLDYAGレーザ装置」を世界で初めて開発した。これにより、アルミニウム材において高吸収率を有するLD光の重畳効果や4倍以上の高輝度化が実現でき、KLY-HP300βでは、従来のYAGレーザ装置よりも消費電力を約90%削減することが可能となった。

京都電子工業株式会社 京都市南区 代表取締役 植田 陽一

#### 『カールフィッシャー水分計、電位差自動滴定装置』

カールフィッシャー水分計は、各種の加工品・製品や天然原料に含まれる水の定量に用いられる。電位差自動滴定装置は、酸塩基滴定、酸化還元滴定などの電位差滴定を自動的に行う装置である。カールフィッシャー水分測定と純度分析等に必要な電位差滴定は、ともに、医薬品・食品・化学・石油業界等多くの企業で材料や製品の分析に使用されており、従来はそれぞれの専用機で対応していたが、一台の制御部でそれぞれの分析部を制御し、同時に測定することが可能な複合機を開発した。水分計と電位差滴定装置の複合機は世界唯一である。

株式会社ソフィア・クレイドル 京都市左京区 代表取締役社長 杉山 和徳

#### 『携帯ソフト圧縮ツール“Sophia Compress”』

全ての携帯電話で用いられるJava並びにBREW上で動作するアプリケーションを圧縮するツールである。携帯電話は多機能化が求められていることに反し、搭載ソフトにはファイルサイズ制約がある。ソフトウェアの肥大化とメモリー制限という相反するものを両立させるために、どの機種においても動作保証がなされるソフトウェアの圧縮技術が必要である。当ソフトはBREWアプリの圧縮ツールとしては唯一のもので、平均20～50%程度の圧縮率を持ち、逆コンパイルしても元に戻らないことから、ソースの秘匿性を保持できる利点がある。

株式会社大日本精機 京都府長岡京市 代表取締役 杉原 正芳

#### 『自動溶出試験機』

従来、「日本薬局方」「日本薬局方外医薬品規格」に記載された医薬品の溶出試験は、薬効成分の溶出から成分定量まで手動又は一部自動で行われていたが、当社では、医薬品中の薬効成分の溶出から溶出成分の分析、試験結果作成までの全工程を自動化する装置の開発に成功し、1度の準備で連続10回の繰返し試験が無人でできるようになった。また、ベッセルの加工寸法精度の向上や自動処理等により、試験結果の再現性が向上しただけでなく、試験結果のパソコンによるデータ処理・自動出力等により、人の労力を要する煩雑な操作が省け、データ解析も含めて大幅な省力化が可能となった。

株式会社マエダ・スーパー・テクノ 京都府宇治市 代表取締役 前田 剛一

#### 『大豆粉末加工 及び 粉末大豆』

従来の微粉砕加工技術においては、繊維質、高分子構造、脂質、糖質を多く含むものは微粉砕が困難であったが、脱皮した大豆を約0.5秒で微粉砕し、平均粒径が20μm程度の粉末大豆を製造することに成功した。極めて短時間の微粉砕により発熱しないため、油脂の酸化等による劣化が起こらない。これにより、おからの発生しない豆腐や豆乳風味の大豆飲料の製造・販売に成功するとともに、豆腐製造時に発生する年間約80万tのおからについて課題であった処理コストや環境影響面での問題が、この粉末大豆を用いることにより解消された。

株式会社ミツワ製作所 相模郡山城町 代表取締役 原田 光夫

#### 『MITSUWAリサイクラー(プラスチックフィルム再生機)』

インフレーション式のプラスチックフィルム製造時に出る耳ロスのフィルムを非加熱(フィルムの自己発熱)でペレット化し、バージン原料として再利用できる装置を開発した。本開発は比較的低温の自己発熱で圧着する方式で樹脂劣化がなく、再生混合比率を25%にしても、リサイクル時の品質は100%バージン原料で製造したプラスチックフィルムとほとんど同等である。本装置の導入により耳ロスの全量をリサイクルできるので、プラスチックフィルムの製造コストを5～10%下げることが可能であり、廃棄物の減量にも貢献できる。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 新事業支援部  
産学公連携推進課

TEL:075-315-9425 FAX:075-323-5211  
E-mail:gijutu@ki21.jp

# 新春賀詞交歓会

今年は乙酉<sup>きのとり</sup>の年。困難や抵抗にぶつかりながらも大きく飛躍し、  
新たな展開が期待できる年となる。

平成17年1月14日(金)、財団法人京都産業21・京都府異業種交流会連絡会議の主催で、「新春賀詞交歓会」が京都ブライトンホテルにて開催されました。

交歓会は、京都造形芸術大学の学生グループ・和太鼓『<sup>しん</sup>憲』の迫力ある演奏で幕を開けました。

京都産業21・立石理事長の「今年は乙酉の年で、抵抗にぶつかりながらも新たに伸びていく成長ある一年になる。昨年より見え始めた業績回復の兆しを一過性のものに終わらすことなく、しっかりと布石を打っていく年にしたい」との力強い新年の挨拶のあと、京都府・麻生副知事からは「異業種交流は古くて新しい言葉。縦・横の交流を深め、その結び付きを基盤とした京都の活性化を目指していただきたい。また、ハイテク企業の集積地として、京都府南部地域の活性化を一段と進める動きが本格化してくる。資金面、技術面の支援体制を充実させ、新しい産業創造に努めていきたい」と挨拶がありました。

また、京都市・中野産業観光局長の挨拶では「新たに建設されるパイオの研究所を中心として、医学と工学の連携分野の躍進が期待できる年となる。生命科学やナノテクノロジーの推進のため、京都府と京都市が協力して支援体制を構築し、京都の経済、事業活動に元気を与える年にしたい」と京都の新しい動きに期待を寄せる挨拶がありました。



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ [www.pasona-kyoto.co.jp/](http://www.pasona-kyoto.co.jp/)

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447  
京都市下京区四條通堺町東北角四條KMビル4階  
滋賀支店 TEL.077-565-7737  
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津

# 基本に学び、事例に学び、生産革新をめざす

## レポート⑥ 京都マネジメント研究会

京都マネジメント研究会は、11社の会員企業が「生産革新」「経営革新」をめざし、実践的な研究を行っている異業種交流グループ。20年近くの歴史を持ち、人同士の交流、企業活動上の交流をふくめ、深くじっくりと研究活動を続けてきました。

久保氏を講師とした研究会では、毎回具体的で基本に忠実な生産革新(NPS)のプロセスを学んでいます。

そうした活動の一日を拝見し、事務局で研究会会長の立入勘一氏(株)長濱製作所 代表取締役)にお話を伺いました。



会長 立入 勘一 氏

株式会社長濱製作所 代表取締役  
京都市南区唐橋門脇町4の5  
TEL:075(691)5819  
FAX:075(681)7109

京都マネジメント研究会は、「経営構造改革と事業構造改革」を実践的に学ぶ場として、「勝ち企業」になることを具体的な目標として活動を続けている研究会です。

創設は20年ほど前に遡ります。

当時、京都産業21の前身組織が「下請けの自立化を促すための、ものづくり生産革新セミナー」を1年のスパンで開催していました。セミナーでは、理論的な企業運営の考え方、具体的な事例などを学び、個人的にも学ぶことの多いセミナーだったと感じています。

ただ、研究期間が終わったとき、さらに具体的で実践的な勉強会を持ちたいという希望が出て、セミナーに参加していた企業が何社か集まり、「京都マネジメント研究会」を発足させました。

当研究会の16年度の活動スローガンは「本気」「徹底」「トコトン」です。言葉のとおり、現状を見据え、真剣に経営革新に取り組もうとしている企業の集まりです。研究活動もかなり具体的で厳しいものですが、それだけに学ぶものは大きいと確信しています。

活動内容は大きくわけて二つ。「久保革新塾(事業革新研究会)」と「トップ交流会」です。

### ●「久保革新塾(事業革新研究会)」で実践的に学ぶ

これは、(株)メック推進センター・代表取締役の久保敬雄氏を講師に招き、年4回開いている事業革新研究活動です。

この研究会では、理論と実践を学びます。具体的には、モデル企業を1社選び、その企業の生産活動、管理体制、

組織風土体質などを検討していきます。

そして、可能性を秘めた部分、問題提起される部分を互いに見つけ出しながら、いかに改善していくかを探っていきます。こうした具体的なプロセスをふみながら、生産革新の4つの柱として、「経営ビジョン」「徹底した3S活動」「理にかなった生産システム」「理にかなった管理システム」が必要であることを徹底して研修していきます。

久保氏の持論は、「組織風土」を土台に、「理にかなった管理システム」と「理にかなった生産システム」が屋台骨として据えられ、その上に屋根となる「経営ビジョン」が構築されているのが「勝ち企業」となる企業体質である、というものです。

まず、自社の現状を細かく分析し、問題を発見することを研究会では時間をかけて行います。

そうした課題提起こそ、生産改善・革新に必要な不可欠なものであることをたたき込むのです。

### ●トップ交流会で互いの情報交換と刺激を受ける

トップ交流会は特定の日時を設定せず、タイムリーな話題がある時、あるいは他団体との交流を実施するときなどをその日に当てています。



トップ交流会風景

参加メンバーは、20年来の付き合いのある企業同士なので、忌憚のない意見交換が出来る場として活用されています。生産革新された先進企業の工場見学も関係者の支援により実施しています。

また、互いに自社内では気づけなかった可能性やアイデアなども、こうした交流会の話題のなかから発見することができるため、「久保革新塾」と相互作用的に具体的な経営革新に結びついています。



## 平成16年度 テーマ企業 インタビュー

### (株)東光弁製造所 代表取締役 東 忠夫 氏

テーマ企業の選出は、自薦がほとんどです。なぜなら、みな本気で自社やメンバー企業の生産・経営革新について議論できる場であることを実感しているからです。そして自社内では見えなくなっている自分の可能性や強み、そして弱点について指摘してもらい、具体的な革新提案を受けることができるからです。そういった理由から、私も立候補して16年度のテーマ企業になりました。

具体的な研究内容は、まず、自社の現状把握でした。個別に久保氏とのミーティングでこれまでの経営方針、生産ラインの見直しを図りました。そして、いくつか見えてきた問題点を久保塾の場で提示し、メンバー内で議論をします。また会社を見学してもらうことを通して、生産環境、経営環境についての問題も発見していきました。ひとつひとつの提案もさることながら、工場にメンバー企業のトップクラスの方々が来られ、自分たちの生産環境を見学し、そこから様々な指摘をしてもらえる、という行為が、職場スタッフにはとても刺激的なことでした。自分たちが今まで当たり前に行ってきた仕事内容を、客観的な意見で評価され、よりよい活動方法を提案してもらえる。これはモチベーションの向上にも結びつき、社内から生産革新の必要性和見直しを迫る動きが起こることに繋がりました。

長い歴史を持つ当社ですが、今までにない新しい風が吹き込んだ気分でした。当社のテーマ企業としての研修は残すところあと1回です。この1年間の様々な提案を見直し、今後の革新行動へと練り上げていきたいと考えています。

## 12月トップ交流会の発表企業～話題の企業に迫る

### (株)桶谷製作所 代表取締役 桶谷 正躬 氏

現在、私は週に3日は出張で全国を飛び回っています。私たち中小企業は「今は忙しくとも、先はわからない」が当たり前の状況です。とくに関西は生産企業の変動が激しい地域です。現在の好景気が2ヵ月先の予測に結びつかない。大阪が不景気にあえいでいるときに、名古屋は大忙し、という状況は実際にあるわけです。

では、どうしたら少しでも安定した生産活動、経営を実現できるのでしょうか。私は主体性を持つべきだと思います。言い換えれば、自分の将来は自分で守る、決める、切り開くということです。忙しい地域、仕事で溢れている地域に仕事を取りに行くことです。何も昔からのつき合いにこだわって、自社の立場を弱くする必要はないのです。

そのためには、まず方向性をはっきりと打ち出すこと。そして経営理念を明確にし、社内に徹底すること。その上で戦略や目標を立てます。全国を視野に入れば仕事は必ずあります。こうして仕事の目標が達成できるようになれば、大手と対等に取引ができるようになります。取引では自社の強みを徹底してアピールします。たとえば、当社ならフットワークの良さとネットワークの広さで、タイトな納期、細かな注文にもきっちりと対応できることが強みとなっています。当然、中小企業の規模では、一から十までの要望に1社で応えられることは少ない。そこで、ネットワークを結ぶのです。このネットワークは全国に広がっています。そしてインターネットで管理システムを作っておき、注文によってどの企業が得意であるか、その企業の現状を常に把握しておくのです。

仕事は日本中に山ほどあります。それを見つけ、自社も他社も互いにいい仕事ができるネット環境を構築していく。これが、中小企業が大手企業と対等に、しかも自社の強みを売って生き残れる方法だと実感しています。まずは、自社の強みを明確にし、そのために弱点となる部分を克服する必要があります。

ぜひ、広く深く、中小企業ネットワークを張り巡らせて、元気な中小企業ネットワークを構築していきたいものです。当社は今、こうしたシステムをフルに活用して、全国をシェアに活動しています。

このように、自由な雰囲気と、具体的で厳しい研修内容、互いのことを思い合う温かい交流会によって構成されている「京都マネージメント研究会」の今後の課題は、「後継者問題への取り組み」を考えること、そして研究会参加メンバーの増加です。

少しでも多くの企業に参加してもらうことで、さらに具体的な事例を学ぶ機会が増えることになり、より刺激的な研究環境が確立されていくと考えています。

自分を鍛えるためにも、当研究会へのご参加をお待ちしております。



【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業振興部  
マーケティング支援グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240  
E-mail:kigyo@ki21.jp

# 低成長経済期こそ、コラボレーションで創業を考える

平成16年12月11日(土)、12日(日)の両日、久御山町ふれあい交流館ゆうホールミーティングルームにおいて、宇城久地域中小企業支援センター(久御山町商工会・宇治商工会議所・城陽商工会議所)・京都産業21けいはんな支所が主催する「第二創業・経営革新セミナー」が開催されました。

第二創業は、自分の夢をさらに大きく広げるとともに、今までの経営方針、見直し、可能性を探る作業です。新事業の展開を考えておられる中小企業経営者を対象とした企画レッスンのひとつとなる、実践的なセミナーとなりました。

## 講座 1 コラボレーションによる創業の上手なすすめ方



(株)ニュービジネス起業研究所  
代表取締役 佐藤 宏 氏

### コラボレーションの必要性

コラボレーションとは、CO(共同)とLabor(労働・仕事)の合体語です。具体的にはアウトソーシング(専門業者への委託)、アライアンス(連携)、コンソーシアム(産学公連携)、コーディネーション等が含まれています。

では、なぜ今、コラボレーションが必要とされているのでしょうか?人口が減少傾向にある現在、縮小経済においては売上第一主義から利益第一主義へと移行していきます。「縮む社会の経営戦略」が必要となってくるわけです。そこでは自前主義、つまり、基礎研究から商品開発、生産、販売まで全ての過程を自社で行う経営は限界をむかえます。そこからの脱却のためにコラボレーションの必要性と可能性が見えてくるのです。コラボレーションの中心となるのはアライアンス、つまり企業間の連携、経営資源の共有であり、そこには異業種交流・融合化の考え方が存在しています。

### 異業種交流・融合化の進め方

コラボレーションを進めるには、低成長時代におけるマーケティングを考えることが重要です。マーケティングというのは、マーケット(市場)を創ることですが、これは、「縁」を創ると考えるべきです。つまり戦略

的アライアンスが生き残りの術となるわけです。

すすめ方のプロセスには、①「交流段階」、②「開発段階」、③「事業化段階」、④「市場展開段階」があります。

「交流段階」は、異分野の中小企業者同士が出会い、新たな共同開発テーマを発掘し、そのためのパートナーを探すきっかけを作る段階です。

互いの強み、弱みを相手に明確に伝える必要があります。このとき、新規事業テーマとして、「新規成長15分野」に盛り込まれているような少子・高齢化、地球環境、3Rなどの成長分野に絞り込むことが大切です。そして、「共同開発テーマ」を発掘していきます。

「開発段階」では、共同開発テーマの提案者をリーダーに商品化に必要な技術・ノウハウを保有する企業が複数社参加して、開発の中核グループを結成します。

「事業化段階」では、「小さな組織、小さく産んで大きく育てる」をモットーに、出来る限り参加メンバー企業の遊休設備やアウトソーシングを活用するなどして経費を掛けずに活動を開始することが大切です。

「市場展開段階」では商品・サービスの市場展開を図っていきます。融合化を成功させるポイントは、法人化を早い段階で進めることです。そして、株主企業とのコラボレーションを強化し、運命共同体を構築、互いに責任を持つことが必要です。

「一眼、二足、三胆、四力」という剣豪の言葉がありますが、一眼とは、目が利く(見通しを持つ)ということです。二足とは、行動力です。三胆とは、腹を決めて決断するときには迅速に、ということです。四力とは、全てに全力投球することです。中途半端で迷いはいけません。

ぜひ、自社の強み、弱みを見極め、適切な相手とコラボレーションを組み、協力して創業・第二創業を軌道にのせてください。



未来を創る。ムラタの部品が

### 未来ってどうなっているんだろう?

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…

私たちの仕事は電子部品というタネを、エレクトロニクスの世界に送り込むこと。

つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。

携帯電話、カーナビ、パソコン…

ほら、ちょっと前に想像していた未来が、もう今は実現されているでしょう?

私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。

小さな部品で、エレクトロニクスの世界にたくさんの花を咲かせていきます。

デジタルレボリューション(有)  
代表取締役 田村 徹 氏20代の挫折から見たもの、  
それは「負けるが価値」のチャレンジ魂

私は、大学を卒業後、神戸の中堅印刷会社に入社しました。そこでは、主に新規営業開拓を担当した他、工程・制作補助など様々な部署での仕事を経験致しました。

ところが、短期間に多様な仕事を覚えたいと考えるあまり、休みも取らず朝から晩まで仕事をしていたせいで、ついに体調不良で倒れてしまいました。病名は急性の自立神経失調症。ドクターストップによって、仕事を休まざるを得なくなったのです。そして体調が思うように回復しないまま退職しました。

のんびりと養生しながら家業を手伝うという、父からの提案にも素直に従う気になれず、20代の挫折感を味わっておりました。

そのころ、父の事業は右肩上がりの状況で、大阪にも営業所を出すという時でした。それで大阪営業所で仕事をしようと思ったのです。ところが、私が家業を手伝うようになった頃から、事業状況は一転。85年のプラザ合意以降の円高が拍車を掛け、見る見るうちに家業は下降線をたどり始めました。当時80名いた社員は次々と辞め、好景気の間のいい加減な管理体制があちこちで露呈しはじめたのです。

敗戦処理を終えたのを機会に、私は単身、東京に出よう決めました。父とはいろいろな事で大げんかになりましたが、100万円という資金を持って、上京したのです。

上京して感じたのは、「世間知らずな自分」でした。資金にしても100万円程度では事務所を借りることもできません。東京の神田神保町に一坪の狭い事務所を借り、実際の仕事は千葉県など周辺都市の工場を周り集め、東京営業所にも、少しずつスタッフを雇う余裕ができました。8年目にして5億の年商に。すべてゼロからの出発で、飛び込み営業で仕事を取って回った結果でした。

一方、私の病状はいっこうに回復せず、中国気功などを試しながら克服しようとしている時でした。父が脳梗塞で倒れたのです。96年7月に父の仕事を正式に引き継ぐことになりました。そして、債務が膨れ上がっていた父の会社の再建に取りかかったのです。

まず製本工場を閉鎖し、大阪営業所を閉めました。社員も157名まで膨れ上がっていましたので、外注先にスタッフを付けて設備を譲るという方法で、従業員の再就職対策を進めながらの作業が続きました。

こうした経験から得たのは、「負けるが価値」という教訓です。マイナスの状況から周りを探ることは、新しい可能性を発見する絶好の機会になる、と実感したのです。

## ストーリーの中に今を捉え、未来を創る

ほぼ同じ時期に、通産省外郭団体であるIPAの「CCC(サイバーコースコンソーシアム)」実証実験に参画しました。それは「京都モール」というネット上の商店街運営でした。大手企業が中心となってやっていますが、バーチャル商店街はうまく運営されていませんでした。

これは入り込めるチャンスだと感じたのですが、実は、その頃はまだITを勉強したこともなく、コンテンツという言葉の意味すらも分かっておらず、「一部ハタリ」的な参加希望でした。この挑戦を機会に、ITビジネスのノウハウを覚えていきました。

挫折と敗北感を味わってきた私は「私は何屋でもない、自分自身である」と考えるようになりました。自分が無理だと諦めたら、その時点でそれが現実となります。ところが「やれる」と思いつづけていけば、多くの補助を得られ、いずれ「可能」とすることができるのです。

私は「ストーリーで考える」ことを大切にしています。

人生に起こる様々な事象はバラバラに見えます。しかしどれもひとつの結果に結び着くための通過点なのです。ひとつひとつの事象に右往左往し、全体を、未来を見失うより、大きな長いストーリーとして今を捉え、今の重要性、今何をなすべきかを知ることが大事だと考えています。

結果、家業を引き継いだ印刷業は、社名をショウワドウ・イープレス(株)と改めました。この新社名になってから、経営革新支援法の認定を受け、更に、ISO9001、ISO14001を取得しました。

2001年には、新たに、デジタルレボリューション(有)を設立して、幅広い事業展開をスタートさせました。

ここでも、京都府けいはんなベンチャーセンターの入居審査を始め、京都市や京都商工会議所の認定を受けたり、補助金を受けて新しいビジネスモデル構築に取り組んでおります。

また、産学連携の取り組みとして、関西文化学術研究都市知的クラスター創生事業のプロジェクトにも参画しています。

こうした動きも「他人の7倍のスピードで成功と失敗を繰り返してきた」という自信とそこから見つけた教訓、自分自身の信念が支えています。

自分が熱意を持って進めば、周りの人からの助言や支援は素直に聞けるようになり、また集まってくるものです。

人生も経営も、出会いと別れの繰り返しです。

であるならば、別れ以上にすばらしい出会いを持てば、人生も経営活動も、輝き続けるのではないかと、思っています。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 けいはんな支所

TEL:0774-95-5028 FAX:0774-98-2202  
E-mail:keihanna@ki21.jp

計ることの未来を  
見つめ続けるイシダは、  
さまざまな計量機器・システムを  
ご提供することで、  
豊かな明日の社会づくりに  
貢献してまいります。



# 夢も未来も はかりたい

株式会社イシダ <http://www.ishida.co.jp>

本社 京都市左京区聖護院山王町44番地  
〒606-8392 Tel(075) 771-4141

東京支店 東京都板橋区板橋1丁目52番1号  
〒173-0004 Tel(03) 3964-6111

滋賀事業所 滋賀県栗東市下鈎959番地1  
〒520-3026 Tel(077) 553-4141



# みなさま(地域)と共に歩む同志社大学をめざして

## 産学連携コーディネータと一緒に、問題解決(ブレークスルー)の糸口を模索します

「自ら変える 自分から元気になる 文化の醸成と発信のために」を目標に、2002年リエゾンオフィスを設立しました。翌年には、研究交流・技術移転を円滑に行なえるよう知的財産の管理・活用を目的として知的財産センターを設立。リエゾンオフィスと知的財産センターを研究開発推進機構内に併設し、4名のコーディネータが常駐する体制を確立して企業・地域のみなさまの多くの要望に応えてきました。また、総合大学である本学の特性を活かして文理融合型(総合サポート)を目指す本学の産官学連携の姿勢には高い評価を得ています。新たなきっかけをみつけるべく、ぜひ一度お気軽にご相談ください。

### 研究開発支援

コーディネータによって、みなさまと大学の知的資源(シーズ)のマッチングを行い、共同研究・委託研究・技術相談などにより問題解決を図ります。また、公的研究開発事業への提案も行っており、経済産業省「地域新生コンソーシアム研究開発事業」・文部科学省「地域結集型共同研究開発事業」「知的クラスター創成事業」において実績を残しています。

### 交流事業

リエゾンオフィスフェア・けいはんな産学交流会・知的財産セミナー等を定期的に開催しています。これらの交流会がきっかけとなり研究交流の成果を上げております。詳細は<http://liaison.doshisha.ac.jp/>のイベントインフォメーションをご覧ください。

### NPO法人 同志社大学産官学連携支援ネットワーク

「企業」、「行政」、「大学」が、垣根、利害を越えて集まり、それぞれの持っている能力・資源を活用し、地域経済の活性化に貢献することを目指しNPO組織を立ち上げました。

本NPOは、大学や企業関係者、行政が連携するだけでなく、新たな日本型産官学連携のモデルを作ることによって、地域や経済の活性化に貢献することを目的としています。詳細は<http://www.doshisha-net.org/>をご覧ください。



【お問い合わせ先】

同志社大学リエゾンオフィス

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 ラウンジ棟1F  
TEL:0774-65-6223 FAX:0774-65-6773  
E-mail:jt-liais@mail.doshisha.ac.jp



先端のコンポーネンツで、  
幅広いソーシャルニーズに応えるオムロン。

たとえば、携帯電話用の液晶バックライト。光を均一に拡散させる独自の技術により、飛躍的に明るく色ムラのないカラーディスプレイ表示を実現しました。この技術は、高輝度と高効率求められるプロジェクタやカーライトなどにも応用され、活躍の場を広げています。高度なセンシング&コントロール技術から生まれるオムロンの先端のエレクトロニクス・コンポーネンツ。携帯電話から家電、自動車まで幅広い製品の高機能化をサポートし、人々のコミュニケーションや身近な生活を鮮やかに進化させています。



#### 液晶用バックライト

従来方式に比べ約3倍の高効率を持つ画期的な導光板により、高輝度と低消費電力を同時に実現。また、単一光源方式なので色ムラのない画像が得られます。

液晶用バックライトの詳細情報: [www.omron-backlight.com/](http://www.omron-backlight.com/)

**OMRON**  
Sensing tomorrow™

# 京都産業21だからできる人材育成サポート

## 各種研修のご案内

☆品質の高い研修 ☆お安い値段 ☆即!現場に役立つ研修

当財団では中小企業の皆様にお役に立てるよう、新入社員研修、中堅社員研修、管理監督者、経営者・後継者育成研修をはじめとする階層別研修と貿易実務(初級・上級)、財務管理者等の職能別研修などさまざまな人材の育成に関する研修を開催しております。

今後の開催日程が確定しております研修につきまして、以下の表のとおり実施いたしますので、奮ってご参加いただけますよう、ご案内いたします。

研修名	実施日、時間	実施場所	参加対象	参加費	定員	研修内容	
ものづくり研修 (次回は10月 開催予定です)	2月14日(月)、2月15日(火) ※2日間コース	10:00~17:00 ※2月14日 17:30~19:00 参加者交流会	京都府産業プラザ5階 第4会議室	新入社員~ 中堅社員の方	20,000円(税込み) /人	16名	“ものづくりの流れとやるべきことを理解しよう”をキャッチフレーズに製造業務の模擬体験を通じてものづくりの基本、管理のサイクルを回し、改善することによりQ・C・Dへの重要性を認識し、日常業務への反映の参考とする。
中堅社員研修 (次回は7月開催 予定です)	2月17日(木)、2月18日(金) ※2日間コース	9:00~17:00 ※2月17日 17:30~19:00 参加者交流会	京都府産業プラザ2階 財団会議室	中堅社員の方	28,000円(税込み) /人	18名	“井の中の蛙となることなく社員とのコミュニケーションをとりながらリーダーシップをもってやってくれる管理者”をキャッチフレーズに管理者の役割、実習学習を通して体得する。
後継者育成研修 (基礎コース)	3月7日(月)、3月8日(火)、 3月11日(金) ※3日間コース	14:00~17:00 ※3月7日 17:30~ 19:00 参加者交流会	京都府産業プラザ5階 交流サロン	企業の経営者、 後継者の方	12,000円(税込み) /社 1社3名まで	10社	事業継承のためのポイント・後継者の能力チェックと育成のポイント・後継者として考える経営課題と解決策を学ぶ。
新入社員研修 (第1期)	4月7日(木)、4月8日(金) ※2日間コース	10:00~17:00 ※4月7日 17:30~ 19:00 参加者交流会	京都府産業プラザ5階 第1、2研修室	新入社員の方	20,000円(税込み) /人	第1期、第2期 とも2グループ で1グループ 当たり20名	社会人としての心がまえ等の座学に加え、電話対応等の実技演習およびVTRによる事例研究を中心に行う。
新入社員研修 (第2期)	4月14日(木)、4月15日(金) ※2日間コース	10:00~17:00 ※4月14日 17:30~ 19:00 参加者交流会	京都府産業プラザ5階 第1研修室	新入社員研修 修了者	10,000円(税込み) /人	1グループ 当たり16名	上記の新入社員研修で学んだことを基に、営業、事務系と技術系の2,3のグループに分けて自律できる社員実務研修や、ものづくり演習等の実習を行う。

※①後継者育成研修および新入社員研修の詳細については別添のチラシをご覧ください。

※②新入社員研修の第1期、第2期については同じ内容です。ご都合の良い日を選んでご参加ください。

【お申し込み・  
お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 産業情報部 (吉田)

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720  
E-mail:info@ki21.jp

THE NEW VALUE FRONTIER



Next Energy



次世代  
エネルギー

ソーラー発電システム(太陽電池)



京セラは全事業所において  
ISO14001を取得しています。



Pb Free/RoHS  
環境対応部品  
鉛フリー/RoHS指令対応電子部品



ECOSYS Printer  
環境対応商品  
エコシス・プリンタ  
トナー以外のパーツ交換が不要。  
廃棄物の量を大幅に削減できます。

京セラは「環境思考」。

素材の開発から、環境に配慮すること。それが、京セラの“ものづくり”の姿勢です。  
京セラは、地球の明日を考えて『環境思考』の芽をもっと大きく育てていきます。

### 受発注あっせんについて

このコーナーについては、産業振興部 マーケティング支援グループまでお問い合わせください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

マーケティング支援グループ TEL.075-315-8590 (本情報の有効期限は3月10日までとさせていただきます)

\*備考欄に「BPNet」の表記がある場合は、ホームページのBPNetで詳細がご覧いただけます。「BPNet」のURLは、<http://www.ki21.jp/BPN/>です。

—本コーナーに掲載をご希望の方は、上記マーケティング支援グループ(担当:土屋)までご連絡ください。掲載は無料です。—

### 発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	発注案件						
				必要設備	材料等	数量	金額	支払条件	希望地域	運搬
機-1	精密機械器具	プリント基板設計(面実装の4層基板・スルホールの2層基板・片面基板)	京都市左京区 600万円 3名	関連設備一式		単発、4・5種類 話し合い	月末日× 翌月末日支払 全額現金	京都府南部 希望	受注側 持ち	個人又は 小規模の方に限る BPNet No.93
織-1	ゆかた、 ねまき(単衣用)、 木綿・合成繊維	裁断～縫製～ 仕上(ミシン縫製)	京都市上京区 1000万円 8名	関連設備一式		50～100枚 /月 話し合い	月末日× 翌月末日支払 全額現金	京都近郊	片持ち	継続取引希望

### 受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	月間の希望する 金額等	希望する 地域	備考 (能力・特徴・経験・等)
機-1	穴あけ・ねじ切り加工	ボルト、ナット、段付カラー、 ねじ	京都市伏見区 個人 4名	ターレット旋盤、ボール盤、フライス、 タッパー他	話し合い	不問	
機-2	電子機器の配線・組立・梱包、樹脂コーティング処理 (防水対策)		京都市山科区 1000万円 15名	2液自動計量混合吐出装置、超音波ウェル ダー、恒温器、真空脱泡器、ティスペンサー、 各種半田関連設備他	話し合い	関西地域	BPNet No.279
機-3	旋盤加工	一般産業用機械部品	京都府京田辺市 個人 1名	汎用旋盤6尺、直立ボール盤、溶接機、汎用 フライス盤他	話し合い	南部地域	経験25年
機-4	切削加工φ1～150(一般 鋼材・特殊鋼材・ステン・アル ミ・真鍮・銅系・樹脂他)	精密機械部品、光学機器部 品、医療機器部品	京都市山科区 個人 2名	NC旋盤、小型NC旋盤、主軸移動式自動盤、 汎用フライス盤他	10～数100個 /lot	不問	経験20年 / φ50以 下の小物部品加工を得 意とし、品質に自信あり。
機-5	プリント基板のディスクリート 部品実装、組立配線等	電気・電子関連機器	京都府宇治市 個人 5名	自動半田付け機、静止半田槽、リードカッター、 EPROMライター、実態顕微鏡、エアコン プレッサー、DC安定化電源、パワ盤他	話し合い	京都府南部	BPNet No.270
機-6	穴あけ・旋削・ねじ切り加 工(ステン、アルミ等)	自動車関連部品、一般産業 用機械部品	京都市西京区 個人 2名	3次元CAD、汎用旋盤、汎用フライス盤、卓 上ボール盤、各エアツール、組立定盤、MIG アークガス溶接他	多品種小ロット	不問	BPNet No.278
機-7	機械設計、メカトロ設計機 械加工～板金加工～組立 ～機械電気のメンテナンス	省力化機械の試作機	京都市南区 1000万円 6名	設計設備、機械加工設備、板金加工設備、組 立工場40坪天井高さ6m3トン走行クレー ン設備他	話し合い	不問	BPNet No.267
機-8	切削加工～焼入れ・研磨・ 表面処理	産業用機械部品	京都府久御山町 300万円 5名	MC、汎用フライス、汎用・NC旋盤、円筒研 磨機他	話し合い	不問	BPNet No.276 経験20年

「BPNet」 <http://www.ki21.jp/BPN/>

—インターネットによる受発注情報ネットワークシステム—



### 遊休機械設備の紹介について

このコーナーについては、産業振興部 マーケティング支援グループまでお問い合わせください。  
 当財団のホームページにおいても掲載しています。  
 なお、紹介を受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。  
 マーケティング支援グループ TEL.075-315-8590

\*財団は、申込みのあった内容を情報として提供するのみです。価格等取引に係る交渉は直接掲載企業と行っていただきます。

### 売りたいコーナー

No.	機械名	形式・能力等	希望価格
001	汎用強力旋盤(切落付)	川崎鉄工株、KA-2000型、ベット全長2000mm、ベット振り500mm、切落とし振り730mm、昭和44年4月製造	3万円
002	汎用立フライス盤	日立精機株、2MF、テーブルストローク左右710mm・前後280mm・上下400mm、昭和48年製造	25万円
003	金切鋸盤	(株)村橋製作所、キルサー180、切断最大寸法φ180、鋸のストローク110~160、モーター400W、専用切断油付、カタログ付、平成6年7月製造	7万円
004	手動式チエンブロック	バイタル工業株、バイタル30-VH、平成元年10月製造	8千円
005	イーグル・クランプ	イーグル・クランプ株、SB-1及びSB-3	(SB-1)2個で8千円、 (SB-3)2個で12千円
006	高精度2次元寸法測定器	キーエンス、VM-8040、16箇所同時瞬間測定、エクセルへの直接入力可能、平成16年7月購入	130万円

<http://www.ki21.jp/business/yukyu/index.htm>



お知らせ  
Information

### 微細精密加工技術展2005 出展者募集中!

— <http://www.mmts2005.com> —

世界におけるわが国製造業の競争優位を堅持するため、モノづくりに関わる各種微細・精密加工技術の最高水準を展示・紹介し、その普及とより一層の進化を目指します。同時に同技術を有するモノづくり中小企業の振興・発展を期すことを目的に開催します。

#### 開催概要

- 会 期 ● 2005年5月25日(水)~28日(土)
- 会 場 ● インテックス大阪 1・2・3号館
- 出展対象 ● 微細・精密加工技術/加工部品、微細・精密加工機械/関連機械機器など
- 主 催 ● 微細精密加工技術展2005実行委員会((財)京都産業21ほか)

#### 特別割引補助制度

(財)京都産業21の登録企業は特別割引制度があります。詳しくは事務局までお問合せ下さい。

#### 出展要領

- 申込締切 ● 2005年2月18日(金)
- 出 展 料 ● 普通小間(9m<sup>2</sup>)262,500円(税込) など

【お申し込み・  
お問い合わせ先】

同展事務局(日刊工業新聞社 大阪支社内)

TEL:06-6946-3384  
URL:<http://www.mmts2005.com>

# February 2005.2.

# March 2005.3.

1 火		1 火	
2 水		2 水	
3 木	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日	3 木	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日
4 金		4 金	
5 土		5 土	
6 日	あきんど講座 日時 2月7日(月) 13:30~15:30 場所 綾部商工会議所	後継者育成研修 日時 3月7日(月) 3月8日(火) 14:00~17:00 場所 KRP京都府産業プラザ5F	第8回創援隊交流会 日時 3月8日(火) 14:00~17:00 場所 新・都ホテル
7 月	京都ビジネス交流フェア 日時 2月8日(火) 10:00~17:00 2月9日(水) 10:00~16:30 場所 国立京都国際会館	取引適正化無料法律相談日 (相談時間 13:30~16:00)	取引適正化無料法律相談日 (相談時間 13:30~16:00)
8 火		8 火	
9 水		9 水	
10 木	ものづくり企業 ITマネジメント研究会(第2回) 日時 2月10日(木) 14:00~17:00 場所 KRP京都府産業プラザ5F	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日
11 金		11 金	
12 土	自立化塾 日時 2月12日(土) 13:00~18:00 場所 KRP	自立化塾 日時 3月11日(金) 15:00~20:00 場所 ウェルサンピア京都	後継者育成研修 日時 3月11日(金) 14:00~17:00 場所 KRP京都府産業プラザ5F
13 日		13 日	
14 月	人づくり塾《ものづくり研修》 日時 2月14日(月) 10:00~17:00 2月15日(火) 10:00~17:00 場所 KRP京都府産業プラザ5F		
15 火		15 火	
16 水	創援隊交流会(東京会場) 日時 2月15日(火) 14:00~17:00 場所 東武銀座ホテル	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日
17 木		17 木	
18 金	人づくり塾《中堅社員研修》 日時 2月17日(木) 9:00~17:00 2月18日(金) 9:00~17:00 場所 KRP京都府産業プラザ2F		
19 土		19 土	
20 日	自立化塾 日時 2月19日(土) 10:00~18:00 2月20日(日) 9:00~17:00 場所 ウェルサンピア京都		
21 月		21 月	
22 火	あきんど講座 日時 2月23日(水) 13:30~15:30 場所 宇治商工会議所		元気交流京都セミナー 日時 3月23日(水) 場所 未定
23 水		23 水	
24 木	ものづくり企業 ITマネジメント研究会(第3回) 日時 2月24日(木) 14:00~17:00 場所 KRP京都府産業プラザ5F	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日
25 金		25 金	
26 土		26 土	
27 日		27 日	
28 月		28 月	
		29 火	
		30 水	
		31 木	専門家特別相談日 海外ビジネス特別相談日

### 専門家特別相談日

(相談時間 10:00~16:00)

京都産業21(京都府の中小企業支援センター)の総合相談窓口では、創業・ベンチャー企業および経営の向上をめざす中小企業の方々から事業展開を図る上での、様々な問題解決について、専門家相談員が無料で相談にお応えする「専門家特別相談日」(毎週木曜日)を開設しています。

○相談場所 当財団 相談室  
○申込は、事前に相談内容を当財団 新事業支援部 経営革新課までご連絡ください。  
TEL 075-315-8848 FAX 075-323-5211 E-mail: kakushin@ki21.jp  
なお、相談窓口では、いつでも経営支援相談員が、ご相談にお応えしています。

### 海外ビジネス特別相談日

(相談時間 13:00~17:00)

○毎週木曜日  
○申込は、事前に相談内容を当財団 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。  
TEL 075-315-8590 FAX 075-315-9240

### 取引適正化無料法律相談日

(相談時間 13:30~16:00)

当財団では、取引に関する法律問題や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っておりますので、お気軽にご利用ください。

○相談場所 当財団 相談室  
○申込は、事前に相談内容を当財団 産業振興部 マーケティング支援グループまでご連絡ください。  
TEL 075-315-8590 FAX 075-315-9240 E-mail: kigy@ki21.jp

大切にしたい 一人ひとりの個性や価値観  
～みんながね ちがうからこそ いいんだよ～



古紙配合率100%再生紙を使用しています